

お客様各位

カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願ひ申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日
ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

RENESAS TECHNICAL UPDATE

〒100-0004 東京都千代田区大手町 2-6-2 日本ビル
 株式会社 ルネサス テクノロジ
 問合せ窓口 <http://japan.renesas.com/inquiry>
 E-mail: csc@renesas.com

製品分類	MPU&MCU	発行番号	TN-H8*-A338A/J	Rev.	第1版
題名	H8SX/1600 シリーズ ハードウェアマニュアル誤記訂正		情報分類	技術情報	
適用製品	下記参照	対象ロット等	関連資料	下記参照	
		全ロット			

H8SX/1600 シリーズのスタンバイコントロールレジスタ、電気的特性の割込み入力タイミング図に誤記がありましたので、ご案内申し上げます。

- 記 -

【適用製品 & 関連資料】

適用製品		関連資料
シリーズ	グループ	
H8SX/1600	H8SX/1650	H8SX/1650 グループハードウェアマニュアル(RJJ09B0024-0200H 2.00 版)
	H8SX/1657	H8SX/1657 グループハードウェアマニュアル(RJJ09B0078-0100Z 1.00 版)

1. スタンバイコントロールレジスタ

1.1 低消費電力

スタンバイコントロールレジスタ(SBYCR)が、8ビットレジスタの表記となっております。

SBYCRの表記を16ビットレジスタに訂正させていただきます。SBYCRの低位8ビットはリザーブビットです。

【変更前】

スタンバイコントロールレジスタ (SBYCR)

ビット	7	6	5	4	3	2	1	0
ビット名	SSBY	OPE	-	STS4	STS3	STS2	STS1	STS0
初期値:	0	1	0	0	1	1	1	1
R/W	R/W	R/W	R/W	R/W	R/W	R/W	R/W	R/W

ビット	ビット名	初期値	R/W	説明
7	SSBY	0	R/W	～説明省略(変更なし)～
6	OPE	1	R/W	
5	-	0	R/W	
4	STS4	0	R/W	
3	STS3	1		
2	STS2	1		
1	STS1	1		
0	STS0	1		

【変更後】

スタンバイコントロールレジスタ (SBYCR)

ビット	15	14	13	12	11	10	9	8
ビット名	SSBY	OPE	-	STS4	STS3	STS2	STS1	STS0
初期値:	0	1	0	0	1	1	1	1
R/W	R/W	R/W	R/W	R/W	R/W	R/W	R/W	R/W
ビット	7	6	5	4	3	2	1	0
ビット名	-	-	-	-	-	-	-	-
初期値:	0	0	0	0	0	0	0	0
R/W	R/W	R/W	R/W	R/W	R/W	R/W	R/W	R/W

ビット	ビット名	初期値	R/W	説明
15	SSBY	0	R/W	～説明省略(変更なし)～
14	OPE	1	R/W	
13	-	0	R/W	
12	STS4	0	R/W	
11	STS3	1		
10	STS2	1		
9	STS1	1		
8	STS0	1		
7～0	-	すべて0	R/W	リザーブビット リードすると常に0が読み出されます。ライトする値は常に0にしてください。

1.2 レジスタ一覧

レジスタ一覧のレジスタビット一覧において、SBYCRが8ビットの表記となっております。
SBYCRの表記を16ビットレジスタに訂正させていただきます。SBYCRの下位8ビットはリザーブビットです。

【変更前】

レジスタ 略称	ビット 31/23/15/7	ビット 30/22/14/6	ビット 29/21/13/5	ビット 28/20/12/4	ビット 27/19/11/3	ビット 26/18/10/2	ビット 25/17/9/1	ビット 24/16/8/0
~SBYCR以外は省略~								
SBYCR	SSBY	OPE	—	STS4	STS3	STS2	STS1	STS0

【変更後】

レジスタ 略称	ビット 31/23/15/7	ビット 30/22/14/6	ビット 29/21/13/5	ビット 28/20/12/4	ビット 27/19/11/3	ビット 26/18/10/2	ビット 25/17/9/1	ビット 24/16/8/0
~SBYCR以外は省略~								
SBYCR	SSBY	OPE	—	STS4	STS3	STS2	STS1	STS0
	—	—	—	—	—	—	—	—

1.3 ソフトウェアへの影響

変更前後のアドレスの対応を下記に示します。
SSBY、OPE、STS(4:0)のアドレスは、変更前後で差はありません。
従って、この変更に伴うソフトウェアの変更は必要ありません。

【変更前の対応アドレス】

SBYCR (8ビットレジスタ)

	Bit7	6	5	4	3	2	1	0
<u>H'FFDC6</u>	SSBY	OPE	-	STS4	STS3	STS2	STS1	STS0

【変更後の対応アドレス】

SBYCR (16ビットレジスタ)

	Bit15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
<u>H'FFDC6</u>	SSBY	OPE	-	STS4	STS3	STS2	STS1	STS0	-	-	-	-	-	-	-	-

・Byte アクセス時のアドレス対応

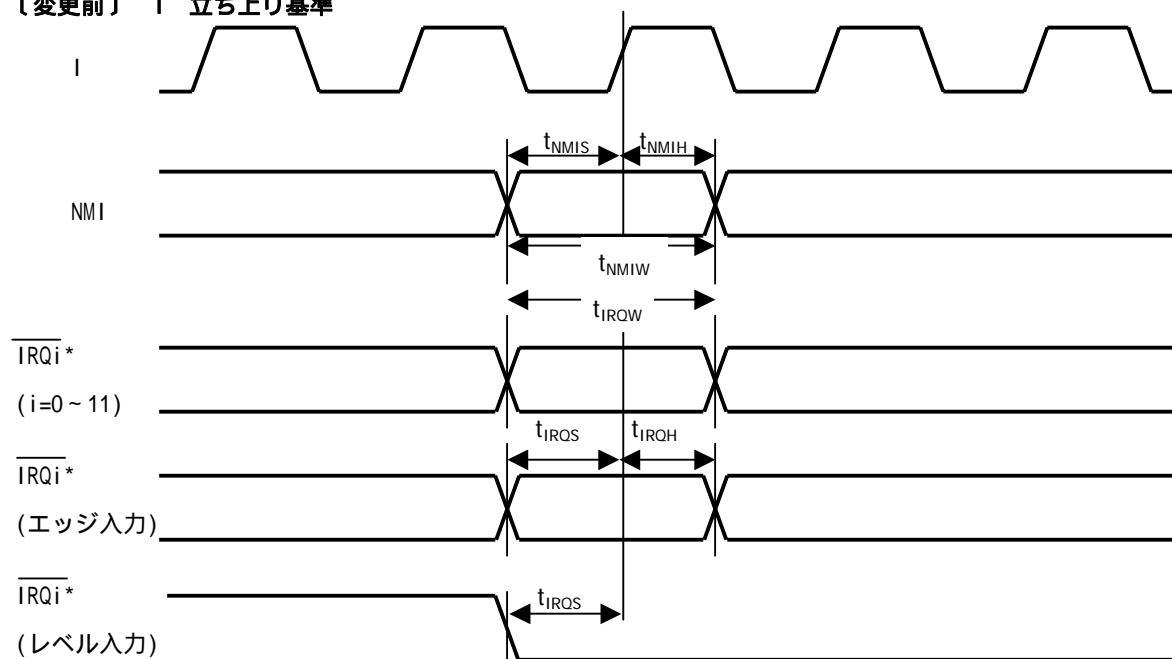
	Bit7	6	5	4	3	2	1	0
<u>H'FFDC6</u>	SSBY	OPE	-	STS4	STS3	STS2	STS1	STS0

	Bit7	6	5	4	3	2	1	0
H'FFDC7	-	-	-	-	-	-	-	-

2. 割込み入力タイミング図

電气的特性的割込み入力タイミング図において、タイミングの基準クロックを訂正させていただきます。

【変更前】 I 立ち上り基準



【変更後】 I 立ち下り基準

